

18. 平和と国際連帯の教育

若者憲法集会後1500人が銀座デモで平和をアピールしました。「私は過去から学び、そして未来へと語り継いでいきたい。おばあさんの涙を、沖縄の想いを」と全戦没者追悼式で高校生が詩を朗読しました。昨年度の分科会報告に「生徒が我がことのようにウクライナの問題を受け止めている」との感想が寄せられました。地球環境正義の子どもたちの取り組みも発展しています。交流しましょう。



19-1. 民主的學校づくり

コロナ禍で一層「学校とは何か?」「学校とはどうあるべきか?」が問われています。そしてGIGAスクール構想、学校DXなど、学校のあり方そのものが変えられようとしています。本分科会では、子どもたちの願いや意見から出発した学級・学校づくりをどのように進めていくか、学校のあるべき姿と切り結びながら、みなさんと希望ある学級・学校・職場づくりについて議論ができればと考えます。みなさんの実践をぜひお寄せください。

23. 教育課程・教科書

GIGAスクール構想下やコロナ禍を超え、校内システムや行事等がどうなっているのか、積極的なレポートを求めます。この間、子どもとどのように関わり実践してきたか、①学級、②学年のとりくみ、③教科、④行事や特活、⑤学校全体など、1つの小さな実践でも持ち寄りましょう。学習指導要領やデジタル教科書、小学校教科書採択、高校も含め観点別評価の問題点も考えましょう。

19-2. 父母・地域住民との共同

長らくコロナ禍の中で、子ども達は授業、運動会、修学旅行、部活動など様々な活動が制限されています。また少人数学級実現を望む声が大きくなっています。本分科会では、次のような観点で学び合いたいと思います。
①コロナ禍での子ども達や学校の様子を出し合い、制限のある中で子ども・教職員の自主的で創造的な教育活動を交流しましょう。
②学校教育への期待を出し合い、子ども達や教育を守る運動の経験を交流しましょう。

24. 生活科・総合学習

私たちは、生活科を「自然・社会・ヒト」を学ぶ科学的認識の土台作りの教科として位置づけ、総合学習を、教科学習とも連動し、「いのち・くらし・地域・環境」等を豊かに学び合う場として大切にしてきました。画面上だけではなく、ホンモノに触れる感動ある学びをどう作っていくか、実践を交流しましょう。

21. 環境・公害問題と教育

本分科会では、持続可能な社会建設への道筋を明らかにすることを研究目標のひとつにすえて、身近な環境問題、公害問題を市民グループの実践や教育実践・教材分析などで報告・交流してきました。

今年度も感染症や自然災害なども含めて、主権者として正しい科学的知見をもとに、真実を求め、未来へつながる社会を展望する教育について、レポート報告、フリートーク、ミニ講演等を行いたいと思います。

下記の分科会は今年度は開催しません。

- 14. 幼保小接続期の教育
- 15. 思春期・青年期の進路
- 20. 教育条件
- 22. 文化創造と教育

全体会

教育のつどい大阪

2023 三島フロック

「新しい戦前」の中にいる子どもたちへ

かねひら しげのり
金平 茂紀さん
ジャーナリスト
沖縄国際大学非常勤講師
教育誌『クレスコ』に「世界の取材現場から見た日本」を連載中

2023
9/23
土・休

茨木市市民総合センター
(クリエイティブセンター)センターホール

アクセス JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木駅から西へ徒歩12分
開会 13:30～ / 開場 13:00



レポート提出はこちら



提出は左のQRコードから

○分科会レポート提出 9月4日(月)まで

大阪教職員組合のホームページからもアクセス
できます。 <http://www.daikyoso.net/>

レポート提出を
Eメールで行う場合

daikyoso@daikyoso.jp

メールの場合は、件名を「教研レポート提出届」とし、メール本文に、

- ①発表を希望する分科会
 - ②レポートタイトル
 - ③市町村・学校名(または団体名)
 - ④お名前
 - ⑤住所
 - ⑥電話番号
 - ⑦報告にあたっての要望
- 上記を必ず記載してください。

やむを得ずFAXにてレポート提出届を提出する場合も上記の内容を記載してください。

※レポート提出届を受信した旨の返信がない場合、エラーの可能性がありますが(返信は月～金で行います)。

■報告の際は、パワーポイントを使う場合も必ず紙媒体でレジュメを用意してください。レジュメなしでの報告は認めないものとします。

■パソコンを使用する場合は、報告者自身でご用意ください。

■感染症や災害などによって、実施できない場合があります。大阪教職員組合のホームページにて告知しますので、必ず事前にご確認ください。

教育のつどい大阪2023実行委員会

〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館706 大阪教職員組合内
TEL:06-6768-2330 / FAX:06-6768-2239
E-Mail: daikyoso@daikyoso.jp 2023年7月5日発行

分科会

教科別分科会

11月18日(土) 教科別分科会

会場|摂津市立鳥飼西小学校 開会10:30～

アクセス 摂津市鳥飼西3丁目1-1
阪急茨木市駅より近鉄バス「鳥飼西三丁目」下車、徒歩2分

2. 外国語教育

(1) すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びと平和な未来を開く力を育てます。(2) 学習指導要領や教科書の批判・検討をし、よりよい教材とは何かを考えます。(3) 小学校英語のあり方と実践を交流します。(4) 生徒の実態・興味関心にあわせて、映画や歌などを活用します。また協同学習で生徒が自ら学ぶ授業を創造します。

3. 社会科教育

科学と事実に基づき、地域の主人公としての子ども、主権者を育てる社会科教育をすすめます。発達段階をふまえた実践を研究・討議し、社会科の学力とは何かをあきらかにします。学習指導要領の問題点を明らかにし、平和と民主主義、人権尊重、科学的な認識を育てる授業の交流を深めます。若い先生に明日からの授業づくりの力になるようなわかる授業、楽しい授業、教材の交流をします。

4.算数・数学教育

授業をする者なら、誰もが「わかってできるたのしい授業がしたい」と思っています。しかし、現実には「朝の会から計算練習」「時間に追われながらの授業」と難しい条件が山積みです。

あらためて「子どもたちにどのような学習が必要なのか」を議論し、それを実現するための専門的力量を共有しましょう。知恵を出し合い、「わかる・できる・たのしい授業」を実現するために学びましょう。

5.理科教育

非系統的で画一的な学習指導要領、学力テスト至上主義などさまざまな問題が、子ども達を学ぶ楽しさや、自然を深く理解する喜びから遠ざけています。また、若い先生を中心に「自然科学を深く学び、授業に取り入れたい」「子ども達の発達課題について学びたい」といった声は強くなっています。日々の授業実践やプラン、教材を交流することで「すべての子どもたちに豊かな自然認識を育てる」授業のありかたを考えていきたいと思えます。

6.美術教育

美術教育は子どもたちに生きる喜びを与え、豊かな人間性を育むために必要不可欠な教科です。参加者の授業実践や子どもたちの作品をもとに以下のことについて学び、考えましょう。

①子どもたちの実態や発達を考え、生活実感に根ざした表現、豊かな感性を育む指導。②発達保障の観点から手仕事を通し、主体的につくる喜びを味わうことができる指導。③作品鑑賞を通し、作品との対話の方法や美を感じる喜びを味わうことができる指導。

7.音楽教育

多種多様な文化、表現活動があふれているなか、子どもたちとつくりあげていく音楽活動はしっかりとした教材選択と教材分析のうえで、学習活動に織り込んでいけたらと思えます。

この分科会では、日頃の子どもの様子进行交流しながら、自分たちの実践を語り合い、音楽の楽しさを実際に体感しながら音楽の世界を深めて行けたらと考えています。

8.技術・職業教育

生徒のやる気を引き出す教材、生徒が保護者に見せたい教材を工夫しましょう。日々の教育実践での悩みや工夫を持ち寄り明日からの授業づくりの参考になるような実践、教材の工夫を交流します。

(研究課題)①情報教育について②道具の正しい使い方③生物育成を楽しむ方法④新学習指導要領に変わって⑤専門実習で理解を深めるための工夫⑥職業教育と地域・社会とのつながりについて⑦職業高校各校の現状、取組と実践の交流⑧今後の職業教育のあり方

9.家庭科教育

小・中・高で学ぶ家庭科の内容の交流や実践を持ち寄り、魅力あふれる教材や実践の交流をしましょう。

- ①地域・家庭との連携を深めながら、科学的認識や基本的技能を育てる教育内容を考えあいましょう。
- ②日本の農業生産と関連づけた食料自給について学びあいましょう。食の安全についても考えあいたいと思えます。
- ③主体的な学びへとつながる教材の研究と新学習指導要領の検討をし、家庭科教育の意義を交流しましょう。

10.体育・健康・食教育

子どもたちをとりまく環境は、自然環境の悪化、コロナ禍による教育情勢の変化、親の多忙化など生きづらい現状にあります。年々複雑になるアレルギー、食生活のあり方、自然災害による食糧問題が深刻化しています。

日々の実践を体育、保健、食育の分野から報告し参加者で交流を深めます。そして、子どもたちの安心安全な生活が保障され、自ら健全な心身を養うための知識を身につけられるような手立てを話し合いたいと思えます。

11.生活指導・自主的活動

- ①日々の教育実践のなかで、学級・学年・学校の集団づくりを、どうすすめていくか。
- ②集団づくりの基礎として子どもたちの心をどう理解し、どのように信頼関係を築いていくか。

互いに苦労話、失敗例、成功例の経験を交流し、解決の方向を探り、確信に結びつくような議論にしたいと思えます。

25.登校拒否・不登校

(今年度は教科別分科会の日に行います)

2021年度の小・中学校の不登校児童・生徒数は、9年連続の増加で24.5万人と過去最高を更新しました。コロナが蔓延する中、大阪府は「すくすくウォッチ」を強行するなど管理と競争の教育を一層強めています。これでは、ますます不登校が増加することは避けられません。この分科会は、教職員や相談員と親たちがともに登校拒否・不登校について考える場です。お互いの悩みや経験・取り組みを交流し学び合いましょう。



問題別分科会

2024年
1月20日(土) 問題別分科会
会場 | 高槻市立芥川小学校 開会10:30~
アクセス 高槻市真上町1丁目2番3号 JR高槻駅から
徒歩10分、阪急高槻市駅から徒歩18分

1.国語教育 (今年度は問題別分科会の日に行います)

認識力と表現力を育てる国語教育をどのように進めていくかを交流したいと思います。中でも、文学を文学として読むことの意義をふまえて、教材研究のあり方や様々な指導方法等について話し合っていきたいと思えます。説明文の指導についても交流し合いましょう。また、書くことの意味、読み合うことの意味をおさえ、子ども一人ひとりの課題や思いをどう受けとめ、どのように書く力を伸ばしていくのか、共に考えましよう。

12.発達・評価・学力問題

報告者のレポートをもとに、「学力づくり」「授業づくり」について学び、交流します。今、学校現場はコロナ禍を契機として、授業時間を確保すること、ICT機器を使うことが優先され、子どもたちに学力をつけることが軽視されがちになってきました。そのこととともなって、子どもたちの学力低下の実態が、見えにくくなっています。この分科会では、学力づくりの重要性を確認し、参加者のみなさんと考えたいと思えます。

13.障害児教育

教育や福祉に冷たい政治により、障害児者をめぐる状況は深刻さを増しています。しかし、特別支援学校の設置基準を策定させるなど、運動の力による前進もあります。今こそ、これまでの「権利としての障害児教育」に確信を持ち、真のインクルーシブな社会や教育の実現を目指して、障害児学校・学級・通級・通常学級・放課後などで育つ障害のある子どもたちの事実を交流し、私たちの実践を深めましよう。

17-A.人権と教育

児童・生徒の基本的な人権を守り育てる教育実践や教育運動を交流したいと思います。私たちがすすめる人権の教育は、教育の自由、研修の自由が保障されたうえで、子どもたちに確かな学力と生きる希望を育む認識を育てるものです。憲法と子どもの権利条約が生きる教育をすすめましよう。各職場でおこなわれている多様な人権にかかわる教育実践を持ち寄り、交流しましよう。

17-B.ジェンダー平等の教育

(13時30分～開催します)

子ども達や父母の願いや要求をもとに、進路・労働・家庭・性に関する課題を出し合い交流しましよう。子どもも大人も人間らしく豊かに生き、成長できる社会をつくるために学びあいましよう。